

事務事業評価票

所管部長等名	企画戦略部長 永原 辰秋
所管課・係名	企画政策課 企画係
課長名	丸山 智子

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	地方バス路線維持補助関係	「主たる事業の執行状況調」における件名又は事業名	地方バス運行等特別対策補助金	
会計区分	一般会計			
予算の事業名	地方バス路線維持補助関係			
事業コード(大-中-小)	12 - 01 - 41			
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	第3章 安全で快適に暮らせるまち		
	施策の大綱(節)【政策】	③暮らしを支えるまちづくり		
	施策の展開(項)【施策】	①便利で快適な交通基盤整備		
	具体的な施策と内容	(2)魅力ある交通環境の整備・改善		
根拠法令、要綱等	八代市補助金等交付規則			
実施手法 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 全部直営 ● 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> その他()	法令による実施義務 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 義務である <input checked="" type="radio"/> 義務ではない	
事業期間	開始年度	合併前	終了年度	未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	地域住民	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)	地域住民の生活を支える公共交通手段を確保する。
	内容 (手段、手法等)	<input type="radio"/> 地域公共交通会議の運営 ・バス路線の運行形態、運賃、方向性等について協議 ・委員25名(国、県、交通事業者、警察署、地域住民の代表者等) <input type="radio"/> 路線バス補助金交付・乗合タクシー事業 ・バス事業者に対し運行費補助金交付 ・乗合タクシー運行事業(山間部)			
事業開始時点からこれまでの状況変化等	これまでのバス利用者の減に伴い、バス事業者への赤字補てん分の補助金額は年々増加していたが、平成22年10月のバス路線再編により利便性向上によるバス利用者の増加とバス事業者への補助金の大幅な削減を達成した。				

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	236,943	176,589	30,534	31,100	30,600	30,600	
	事業費(直接経費)	千円	231,693	171,339	24,934	25,500	25,000	25,000	
	財源内訳	国・県支出金	千円	21,844	20,195				
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円						
	一般財源	千円	209,849	151,144	24,934	25,500	25,000	25,000	
概算人件費(正規職員)	千円	5,250	5,250	5,600	5,600	5,600	5,600		
	正規職員	人	0.75	0.75	0.80	0.80	0.80	0.80	
	従事者数	人							
	臨時職員等従事者数	人							
(もたらそうとする効果の数値化)	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
	① バス利用者数	バス利用者を維持・増加させるため、指標として設定。 ※実績及び見込みは、前年度10月～当年度9月	人	625,952	645,581	650,000	655,000	660,000	660,000
	② 乗合タクシー利用者数	乗合タクシー利用者を維持・増加させるため、指標として設定。 ※実績及び見込みは、前年度10月～当年度9月 ※乗合タクシーはH22年10月～実施	人	-	23,877	25,000	25,000	25,000	25,000
(記述欄)※数値化できない場合									

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A A A (現状分析等) マイカーの普及により公共交通利用者は年々減少しているが、高齢者、障がい者、学生等にとっては移動手段として必要なものであり、移動確保のため市の関与は妥当であると考え。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A C (現状分析等) バス路線再編により利用者の増と補助金の削減は達成できたが、その反面乗り継ぎが発生するなどの不便な点も多く発生していることから、事業内容をもう一度精査する必要がある。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	C C B B (現状分析等) さらなる民間委託の拡大や、スクールバス活用による一般混乗など関連事業との連携により利便性向上とコスト削減が可能と考える。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	<input type="radio"/> 不要(廃止) <input type="radio"/> 民間実施 <input checked="" type="radio"/> 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等) <input type="radio"/> 市による実施(要改善) <input type="radio"/> 市による実施(現行どおり) <input type="radio"/> 市による実施(規模拡充)	(今後の方向性の理由) ・民間委託を推進し、乗合タクシーの拡大検討。 ・利用者、地域住民との協働による公共交通のあり方を今後検討。																					
	<p align="center">今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果</p> <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなるバス路線見直しと民間委託を推進し、小型車両等を使用した乗合タクシーの拡大により、コンパクトな街づくりと交通弱者への交通支援を行う。 ・利用者、地域住民等の公共交通に対する意見を踏まえ、地域主体での運行体系の導入検討。 																						
改革改善内容	<p align="center">改革改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td align="center">○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

外部評価の実施	有：外部評価(市民事業仕分け)	実施年度	平成23年度
---------	-----------------	------	--------

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------